

八王子市立陵南中学校  
令和8年度 学校経営計画

校長 天野 拓二

## 1 経営方針

「八王子市教育委員会の教育目標と基本方針」並びに「八王子市立小・中学校再編基本方針」や学習指導要領等を踏まえ、本校の教育目標の実現を目指し、生徒や保護者、市民の期待や信頼に応える魅力ある学校を創造する。生徒や教職員の個性や能力の伸長と発揮、組織としての総合力の向上を図り、「笑顔あふれる、思いやりと活力のある学校」づくりを推進する。

<教育目標>

自ら学び工夫し 思いやりの心を持ち 体を鍛える生徒

重点目標 自ら学び工夫し、何事に対してもうのみにせず、自分事として考え、行動していく。

重点目標達成のキーワード **対話** **創造** **尊重**

## 2 めざす学校像

- (1) 生徒の充実した学びを実現するとともに、豊かな心や健やかな体を育む学校
- (2) 信頼と友愛で結ばれたやさしさと思いやりのある学校
- (3) 健康と安全を重視し、一人一人の存在を大切にする学校
- (4) 教職員が明るく活気、やる気にあふれ、働き甲斐のある学校
- (5) 地域と協働するとともに、体験活動等を通して生徒が主体的に活躍する学校

## 3 めざす生徒像～たくましさ～

### (1) 自ら学び工夫する生徒

- ・学習に意欲的に取り組むとともに、主体的に考え、他者との**対話**を通して考えを深めたり、学んだことを積極的に実生活に生かそうとする。
- ・学年・学級活動や学校行事、生徒会活動、部活動、地域活動などを通して自らの力・集団のとしての力を高め、コミュニケーションを大切にし、工夫・**創造**・協働しながらよりよく行動する。
- ・何事に対してもうのみにせず、自分事として考え、行動していく。

### (2) 思いやりの心を持つ生徒

- ・いじめを許さず、自他の命を**尊重**し、他者の立場に立って物事を考えたり、行動できたりする。

### (3) 体を鍛える生徒

- ・自分の健康や体力、生活習慣に関心をもち、向上を目指して行動できる。

## 4 めざす教師像

- (1) 心から生徒や多様な人々と触れ合える、人間性豊かな教師
- (2) 笑顔を絶やさず、チャレンジ精神旺盛な教師
- (3) 学ぶこと、教えることを大切にする教師
- (4) 使命と責任を果たせる教師
- (5) 自己研鑽に励み、資質、能力の向上に努める教師

## 5 中期的目標と方策

### (1) 未来を担う生徒を育てる教育の推進

創意・工夫ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、対話的な学びを通して思考力・判断力・表現力等を高めるとともに主体的に学習に取り組む態度を育成する。

### (2) 安全・安心で生徒が生き生きと活躍できる学校づくりの推進

教育活動全体を通じて自主及び自立の精神を養うとともに人権意識を高め、自他の命を尊重することができる生徒を育成する。生徒個人の成長を肯定的に評価し、良い面をさらに伸ばす指導を積極的に行い、生徒の自己肯定感や自尊感情を高めていく。

### (3) 家庭・地域とともに生徒を育てる教育、信頼される学校づくりの推進

学校・家庭・地域が連携・協働した取り組みを推進するため、学校運営会議の開催、地域と協働した特色ある教育活動を行う。小学校との深い連携(小中一貫教育)等を充実させる。また、サービスの厳正に努め、地域、保護者からの期待や信頼に応える教育を推進する。

## 6 教育活動の目標と方策

### (1) 学力の向上

#### ① 授業規律の向上

・学習環境の整備の徹底 ・チャイム着席の徹底 ・忘れ物防止等の工夫

#### ② 家庭学習の習慣化

・補充教室の充実 ・ICT 機器を活用した学習の推進

#### ③ 少人数指導の充実(数・英)

・生徒の実態に即し、個別最適化を図る指導法の工夫・改善

#### ④ 積極的な授業改善

・学習端末を有効活用した授業のための校内研修の充実、校外の研修への積極的な参加  
・授業の目標(ねらい)の提示 ・相互授業観察の機会の設定

#### ⑤ 小中一貫教育の推進

・子供一人ひとりの学びの状況を把握 ・個別最適な学びの実現 ・9年間の切れ目ない教育(キャリア教育)

### (2) 生活指導の充実

#### ① 基本的な生活習慣と規律を身につけさせる。

→ 教職員が共通理解のもと毅然たる姿勢であいさつ、社会のルール、規範意識を生徒に身につけさせる。

#### ② 課題のある生徒へのきめ細やかな指導・支援の充実

→ 問題の表面だけでなく裏や根底にあるものの解決を図る指導・支援を行う。

#### ③ 仲間を大切にしたい学校、学級づくりに努め、自治力の向上を図る。

→ 生徒指導の3機能(自己存在感、共存共生、自己決定)を大切にしたい経営を心掛ける。

#### ④ 家庭・地域と連携を深め、問題行動の早期発見・早期解決に努める。

→ 日々の生徒の状況を把握するとともに、家庭や地域からの情報を大切に、地域全体で子どもを育てる。

### (3) 豊かな人間性の育成

#### ① 道徳教育の充実

→ 道徳科においては「思いやり・感謝」「相互理解・寛容」「公正・公平・社会主義」を重点項目とし、「考え、議論する道徳」の授業を展開することにより、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育む。

#### ② 体験活動の充実

→ 地域と連携した魅力ある体験活動を行い、そこで得る自信や経験を自分の力としていく。また、褒めることを通して自尊感情や自己肯定感を高めていく教育を行う。

③ 自治力の向上

→ 生徒会活動等の生徒の主体的な取り組みを通して、自己存在感の確立、共存共生意識の向上、自己決定力の育成を行う。

④ 総合的な学習の時間の充実

→ 総合的な学習の時間は、生徒が日ごろ学んできたことを実践で発揮したり、課題発見のための機会であったりする。活動の成果はもちろん、プロセス評価を重要視する。また、郷土学習を通じて、地域、八王子の未来を見据え貢献しようという意識の育成を行う。

⑤ 人権教育の推進

→ 教育活動のすべてに人権教育に関する指導場面がある。人権尊重の精神に基づき、いじめの未然防止のための指導を徹底するとともに教え込むことだけでなく、生徒の気づき、生徒への共感的理解を大切にしながら思いやりの心を育成していく。

⑥ 進路指導の充実

→ 3年間の見通しをもった進路指導を行うことにより、生徒が自分の意志で判断し、人生設計を描くことができる力を身につけさせる。そのために、教師の指導はもちろん、外部講師等を招聘し、より実践的な進路指導を展開する。

## 7 重点目標と方策及び計画

### (1) 学力の向上

① 全生徒の学力を自己の目標に到達することを目指す。

ア 教師の指導力の向上を図る。

- ・主体的・対話的で深い学びの授業づくりを推進し、学習内容の定着を図る。
- ・適正な評価評定に向けての研修の実施。
- ・授業に関する生徒評価と教師の自己評価を行い、中間申告で確認の上授業改善を図る。

イ 生徒の基礎学力の向上を図る。(社会生活を営む上で必要な最低限な基礎的・基本的な学力の定着)

- ・はちおうじっ子ミニマムの達成。
- ・ミライシード、東京ベーシックドリル、八王子ベーシックドリルの活用を図る。
- ・朝読書の確実な実施。

② GIGA スクール構想を推進する。

- ・生徒がICT機器を活用する機会を増やし、使い方になれる。
- ・インターネット等を使う際の決まり等について生徒に熟知させる。(情報リテラシー教育)
- ・主体的、対話的な深い学びにつながるICT機器の活用を行う。

③ 小中一貫教育を推進する。

ア 小中一貫9年間のキャリア教育を行う。

イ 東浅川小学校との合同研修会を年3回行う。

ウ 東浅川小学校6年生を対象にした中学校招待授業を1回行う。1

④ 八王子市に関する郷土学習を充実させる。

ア 学年ごとにテーマを設け、生徒個々に研究を行わせる。

イ 地域人材や施設を活用して地域に対する関心を深めさせるとともに、地域人材として育成する。

### (2) 生活指導の充実

① 問題行動への予防的対応と、問題発生時の初期対応を重視する。

ア 生徒と教師との信頼関係を深める。

- ・生徒理解のためのカウンセリングの技術の向上をねらいとした校内研修を実施する。

- イ 関係機関や地域と連携し問題行動の早期解決に努める
  - ・子ども家庭支援センター、高尾警察署等の関係機関や青少対、民生・児童委員等の地域の団体等と連携し、情報の共有化と指導・支援の共通理解を図り、問題行動の早期解決を図る。
- ② 特別な支援を必要とする生徒への組織的対応を行う。
  - ア 関係機関との連携強化を図り、不登校生徒の支援にあたる。
    - ・児相、教育センター、SSW 等と連携し、不登校生徒、保護者と学校がつながり、社会参画等をめざす。
  - イ 特別支援教育校内委員会を週1回行い、特別支援教育の視点に立った組織的対応の強化を図る。
    - ・特別な支援を必要とする生徒の実態把握(個別の支援シートの制作を含む)に努め、それに基づいて、特別支援教育コーディネーターや特別支援教室専門員を中心に教職員の共通理解とチーム支援の充実を図る。
    - ・全学年、Q-U テストを用いて生徒理解の深化を図る。
- (3) 豊かな人間性の育成
  - ① 特別の教科 道徳の実施にあたり、地域や外部機関と連携して道徳教育の充実を図る。
    - ・学校運営協議会委員を講師に招いての道徳の授業の実施。
    - ・外部講師による道徳の授業(人権について)の実施。全学年対象
  - ② 発達段階に応じて進路指導の充実を図る。
    - ・第1学年 職業講話等で、広く進路に関して考える機会を設ける。
    - ・第2学年 職場体験等を実施し、具体的に進路に関して考える機会を設ける。
    - ・第3学年 卒業生の話を聞く会・高等学校、特別支援学校等の学校説明会を通して、各自の将来設計につながる進路選択について考え、行動する実践力を育成する。
  - ③ 地域と連携した教育活動を推進する。
    - ・陵南中学校「ふれあいプロジェクト」と連携したスポーツ(週1回)、文化(週1回)、環境美化活動(月1回)の推進。
    - ・福祉体験学習(車いす体験、盲導犬利用者の講話)の充実を図る。
  - ④ 特別支援教育の視点に立った教育を推進する。
    - ・特別支援教室の活用について、教職員の共通理解を図る。
    - ・特別支援学級と通常学級との直接交流、特別支援学校との副籍交流の充実。
    - ・インクルーシブ教育の推進。
  - ⑤ いじめ総合対策を効果的に実施する。
    - ・学校いじめ対策委員会で生徒の情報収集と、いじめ予防の取り組みの計画、実施など組織的対応の強化を図る。
    - ・年3回いじめ調査を行い、いじめの早期発見、早期対応を行う。
    - ・教職員のいじめに関する研修を年3回行い、いじめの未然防止に努める。
- (4) 生徒の防災に関する意識や技術の向上
  - ・第2学年生徒を対象にした普通救命講習の実施。
  - ・小学校と連携した引き取り訓練の実施。
  - ・青少年対策陵南地区委員会主催の防災訓練に協力する。
- (5) ライフ・ワークバランスの推進
  - ・校務改善の検討(学校組織のスリム化・効率化)
  - ・定時退庁日の設定(週1回個人による設定)